

《 さあ、鳥見に
行こう 》

2024年12月5日

令和6年度 VOL.12

魅力的な冬鳥を観察しよう！ 「野鳥観察会」開催

岩手県立高田松原津波復興祈念公園では、12月15日（日）に陸前高田市立博物館と共催で「野鳥観察会」を開催します。昨年に続き、2回目。講師は、南三陸ワシタカ研究会 会長 三浦孝夫氏。古川沼や高田松原に渡ってくる冬鳥を中心に観察し、見つけた野鳥の生態を学びます。参加費無料、定員先着15名。参加者には、日本野鳥の会発行「おさんぽ鳥図鑑」をプレゼントします。



昨年の開催状況（2023年12月16日撮影）

◆初心者にもおすすめの野鳥観察会

講師や学芸員が詳しく説明してくれる観察会。園内を散策し、フィールドスコープや双眼鏡を使って野鳥を観察します。水辺を好むカモやサギの間には、体が大きく動きがゆっくりなため、初心者にもおすすめ。観察後は、公園管理事務所の会議室に移動し、どんな鳥が観察できたかを確認する「鳥合わせ」を行います。

- 開催日/12月15日(日) ■時間/9:00~12:00 ※8:45受付開始
- 場所/高田松原津波復興祈念公園 古川沼・高田松原、公園管理事務所会議室
- 講師/南三陸ワシタカ研究会 会長 三浦 孝夫氏 ■参加費/無料
- 定員/事前受付 各日先着15名 ※定員間近。最新の受付状況は市立博物館にお問い合わせください。
- 申込/市立博物館にチラシの「参加申込書」を提出もしくは、電話(0192-54-4224)にて申し込み ※12/14締切
- 持ち物/双眼鏡(お持ちの方)、筆記用具、飲み物など
- 主催等/陸前高田市立博物館、高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体(指定管理者)
- その他/天候・海の状態により中止となる場合があります。集合場所・服装・持ち物など、詳細は申込後にE-Mail等にて連絡。



会議室での鳥合わせ（2023/12/16撮影）

◆昨年は25種を観察

震災前に、古川沼や高田松原で開催されていた野鳥観察会。13年ぶりに復活した昨年は、小学生から大人まで、多くの野鳥好きが参加。留鳥のカルガモやカイツブリ、アオサギに加え、冬鳥のコクガン（天然記念物、絶滅危惧Ⅱ類：環境省・岩手県）やホシハジロ、スズガモなど、25種の鳥が観察できました。

◆多くの水鳥が訪れる古川沼

岩手県内で最大の自然湖沼で、潟湖である古川沼。東日本大震災による津波により、一時は海と一体となってしまいましたが、防潮堤の建設等の復旧・復興工事により、かつての汽水環境や干潟が回復。多様な水鳥を観察することができるバードウォッチングにおすすめのスポットとなっています。



ヒドリガモの群れ（2024/11/24撮影）

公園管理事務所にて
双眼鏡の無料レンタル実施中

<お問い合わせ> 岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所 担当:尾澤
指定管理者:高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体 (代表:一般財団法人公園財団、構成員:NPO 法人 緑の相談室)
〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字中宿 24-3 TEL:0192-22-8560 <https://iwate-fukkokenen-park.jp/>